

平成25年度 事業報告

委員会開催(3回)、アドバイザー会議(1回)、プロジェクトチームによる研究活動(8件)、成果報告会(2件)、新都市社会技術セミナー開催、及び広報活動を行った。

1) 委員会

3回にわたり委員会を開催した。

①新都市社会技術融合創造研究会(委員会 平成25年4月25日)

- ・規約改正
- ・平成25年度研究テーマ
- ・新規プロジェクト募集
- ・年度事業報告

②第2回プロジェクト選定・評価委員会(平成25年6月13日)

- ・平成24年度事業報告
- ・新規研究テーマに関するプロジェクトチーム設置
- ・継続プロジェクト状況報告

③第3回プロジェクト選定・評価委員会(平成25年9月9日)

- ・終了プロジェクト成果報告
- ・新規プロジェクト状況報告

2) 平成25年度プロジェクトチーム活動

区分	研究テーマ	プロジェクトリーダー	研究期間	フィールド提供事務所
防災	1 降雨特性に応じた道路通行規制のあり方に関する研究	京都大学大学院 工学研究科 助教 小山 倫史	H25～ H27	兵庫国道事務所
	2 ゲリラ豪雨に対応した道路のり面監視方法に関する研究	大阪大学大学院 工学研究科 准教授 小田 和広	H25～ H27	福知山河川国道事務所
	3 道路盛土における排水施設点検・管理手法に関する研究	神戸大学大学院 工学研究科 教授 澁谷 啓	H25～ H27	奈良国道事務所 豊岡河川国道事務所
管理	4 環境に配慮した歩道舗装に関する研究	大阪市立大学 名誉教授 山田 優 近畿大学 研究員 佐野 正典	H25～ H27	近畿技術事務所構内
	5 排水性舗装の耐久性向上に関する研究	大阪市立大学 名誉教授 山田 優 近畿大学 研究員 佐野 正典	H23～ H25	兵庫国道事務所
	6 橋梁の排水施設構造の改善に関する研究	大阪大学大学院 工学研究科 教授 奈良 敬	H25～ H27	和歌山河川国道事務所 大阪国道事務所 福井河川国道事務所
	7 鋼橋の疲労亀裂調査の効率化に関する研究	関西大学 環境都市工学部 教授 坂野 昌弘	H25～ H27	大阪国道事務所 姫路河川国道事務所 京都国道事務所
巡回	8 道路巡回効率化システムに関する研究	京都大学大学院 工学研究科 准教授 松島 格也	H22～ H25	滋賀国道事務所

3) アドバイザー会議

アドバイザー会議を開催し、テクニカルアドバイザーによるプロジェクトチームへの指導・助言を行った。

①第1回アドバイザー会議（平成26年2月5日）

4) 成果報告会

平成24年度終了プロジェクト研究テーマについて、成果報告会を開催（2件）。

◇「走行型計測技術による道路トンネル健全性評価の実用化研究」

プロジェクトリーダー 関西大学 大西 有三 特任教授

○日時 平成25年7月9日（火） 14:00～17:00

○会場 大阪合同庁舎第1号館 第1別館 2階 大会議室

○参加者 産:107名 学:1名 官:56名 マスコミ:1名 計165名

○新聞掲載 1紙（日刊建設工業新聞）



◇「高齢化を迎えた長大橋梁の診断と長寿命化に関する研究」

プロジェクトリーダー 関西大学環境都市工学部 坂野 昌弘 教授

○日時 平成25年11月20日（水） 13:30～17:30

○会場 大阪合同庁舎第1号館 第1別館 2階 大会議室

○参加者 産:69名 学:11名 官:61名 マスコミ:1名 計142名



5) 新都市社会技術セミナーの開催

◇第10回 新都市社会技術セミナー

平成24年度に取り組まれた10プロジェクトについて紹介。

○日時 平成25年9月9日（月） 13:00～17:30

○会場 大阪合同庁舎第1号館 第1別館 2階 大会議室

○参加者 産:111名 学:16名 官:67名 マスコミ:6名 計200名

※参加者よりアンケートを実施。（P.3～9 参照）



6) 広報活動

①建設技術展2013 近畿

研究発表（2件）及びパネル展示を実施。（平成25年10月30日～31日）

第10回新都市社会技術セミナー概要

- (1) 主催：新都市社会技術融合創造研究会
- (2) 日時：平成25年9月9日(月) 13:00～17:30
- (3) 場所：大阪合同庁舎第1号館 第一別館 2階 大会議室
- (4) プログラム

13:00 ~ 13:10	開会挨拶 委員長 大西 有三
13:10 ~ 13:30	①橋梁の延命化シナリオ策定の実践・検証に関する研究 プロジェクトリーダー 宮川 豊章
13:35 ~ 13:55	②高齢化を迎えた長大橋梁の診断と長寿命化に関する研究 プロジェクトリーダー 坂野 昌弘
14:00 ~ 14:20	③橋梁細部における海塩粒子の付着量推定と腐食劣化予測手法の開発に関する研究 プロジェクトリーダー 白土 博通
14:25 ~ 14:45	④道路付帯施設・情報管理施設のアセットマネジメントに関する研究 プロジェクトリーダー 小林 潔司
14:50 ~ 15:10	⑤都市環境改善舗装の普及に向けた維持管理手法に関する研究 (排水、透水性舗装の沿道環境改善機能に関する研究) プロジェクトリーダー 大西 有三
15:15 ~ 15:35	休 憩
15:35 ~ 15:50	⑥都市環境改善舗装の普及に向けた維持管理手法に関する研究 (交差点部における舗装の耐久性向上及び補修に関する研究) プロジェクトリーダー 大西 有三
15:50 ~ 16:10	⑦走行型計測技術による道路トンネル健全性評価の実用化検討に関する研究 プロジェクトリーダー 大西 有三
16:15 ~ 16:35	⑧ナノセンサデバイスを活用した道路管理手法に関する研究 プロジェクトリーダー 西山 哲
16:40 ~ 17:00	⑨ゲリラ豪雨時における道路斜面安定性評価に関する研究 プロジェクトリーダー 小山 倫史
17:05 ~ 17:25	⑩アーチカルバートを連続的に含む景観性に優れた盛土構造の耐震性能評価と災害復旧に関する研究 プロジェクトリーダー 岸田 潔
17:25 ~ 17:30	閉会

- (5) 参加人数

産	111名
学	16名
官	67名
マスコミ	6名
合計	200名

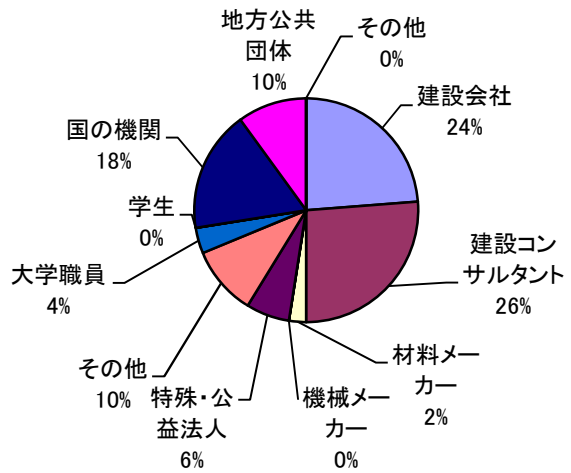
(6) アンケート結果
 セミナー終了時に、参加者へアンケートを募った。その結果を以下に示す。

◆アンケート回収率 40.0%

聴講総数	200名
アンケート回収総数	80名

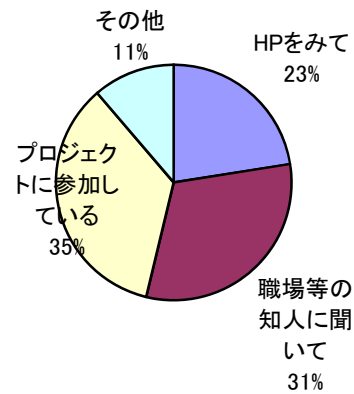
Q1. ご所属をお聞かせ下さい。

建設会社	19名
建設コンサルタント	21名
材料メーカー	2名
機械メーカー	0名
特殊・公益法人	5名
その他	8名
大学職員	3名
学生	0名
国の機関	14名
地方公共団体	8名
その他	0名



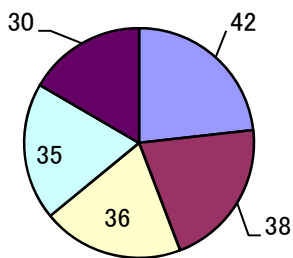
Q2. このセミナーを何でお知りになりましたか。

HPをみて	18名
職場等の知人に聞いて	25名
プロジェクトに参加している	28名
その他	9名



Q3-1 プログラムの中で、興味深く思われたのは、どのテーマですか？（複数回答可）

上位5位



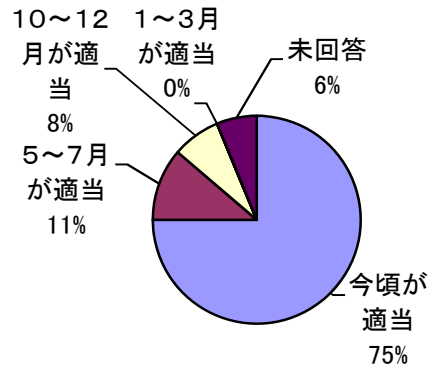
- 走行型計測技術による道路トンネル健全性能評価の実用化検討に関する研究
- ナノセンサデバイスを活用した道路管理手法に関する研究
- 橋梁延命化シナリオ策定の実践・検証に関する研究
- 高齢化を迎えた長大橋梁の診断と長寿命化に関する研究
- 道路付帯施設・情報管理施設のアセットマネジメントに関する研究

<理由>

- ◇ 走行型計測技術による道路トンネル健全性能評価の実用化検討に関する研究
 - ・ 現在トンネル点検に活用している。
 - ・ 効率的点検という点で興味があった。
 - ・ また、同じく道路トンネル健全性評価と補修技術も今後重要になると思われます。
- ◇ ナノセンサデバイスを活用した道路管理手法に関する研究
 - ・ 特にナノセンサデバイスの活用は様々なところで活用ができると感じた。
- ◇ 橋梁延命化シナリオ策定の実践・検証に関する研究
 - ・ 技術の現状がよくわかった。
 - ・ 目新しく、可能性を感じた。
 - ・ 社会資本の維持管理で橋梁の延命化は重要な課題と思います。
 - ・ 発表内容が良かった！
- ◇ 高齢化を迎えた長大橋梁の診断と長寿命化に関する研究
- ◇ 道路付帯施設・情報管理施設のアセットマネジメントに関する研究
 - ・ 現場巡視に参考になる可能性がある。
- ◇ 都市環境改善舗装の普及に向けた維持管理手法に関する研究（排水、透水性舗装の沿道環境改善機能に関する研究）
 - ・ 舗装会社に勤務しているため
 - ・ 舗装関連会社勤務のため
- ◇ ゲリラ豪雨時における道路斜面安定性評価に関する研究
 - ・ フィールドを提供。
- ◇ 都市環境改善舗装の普及に向けた維持管理手法に関する研究（交差点部における舗装の耐久性向上及び補修に関する研究）
 - ・ 舗装会社に勤務しているため
 - ・ 舗装関連会社勤務のため
- ◇ 橋梁細部における海塩粒子の付着量推定と腐食劣化予測手法の開発に関する研究
- ◇ 7-カラムを連続的に含む景観性に優れた盛土構造の耐震性能評価と災害復旧に関する研究
- ◇ 不特定
 - ・ 道路構造物の調査(点検調査)の限界を感じて、それを補足するための、機器による調査の必要性を痛感した。
 - ・ 今後の課題である、インフラの維持管理に対応可能な技術であり、実用化促進を期待している。
 - ・ メンテナンス、計測技術等の分野は今後益々重要性が高まっていくと思われるため
 - ・ 当社の業務と関係が大きいため
 - ・ 今後の安全安心に対する省力化、迅速化を取り入れた工法であるので非常によかった。
 - ・ ありがとうございます。これからも頑張ってください。
 - ・ 道路を管理する中で人命に関わる部門であるから
 - ・ 構造物の維持管理、アセットマネジメントに注目しているため
 - ・ 具体的な説明でわかりやすかった。テーマに興味があったから。
 - ・ 専門会社(道路)ですので、興味深い
 - ・ 仕事の関係の内容及び話題性として興味がある
 - ・ 業務に関連しており、又、防災技術に興味がある。
 - ・ 現在の課題に直結したテーマであった。
 - ・ 業務に活用できるため
 - ・ 維持管理の効率かつコスト縮減をしつつ、安全性を向上させなければならない現状をクリアする技術になれば、と思います。
 - ・ 橋梁耐震補強・補修への研究と舗装研究の維持管理事例を業務に生かしたい。
 - ・ インフラメンテナンス元年にふさわしいテーマだから
 - ・ 橋梁の老朽化が進む現況の中、どのように点検データを管理し、今後の方針の一助となりうると感じたので。
 - ・ 現在の業務内容である
 - ・ 橋梁・トンネル等のインフラ点検に興味があるため。
 - ・ 業務に大いに関係がある。

Q.3-2 開催時期について

今頃が適当	60名
5～7月が適当	9名
10～12月が適当	6名
1～3月が適当	0名
未回答	5名

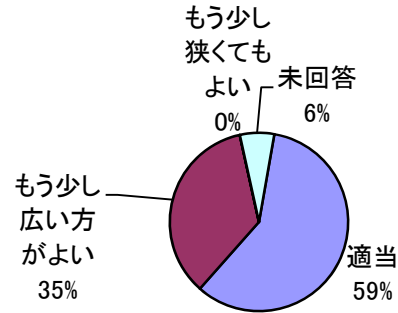


Q.3-2 会場について

(広さについて)

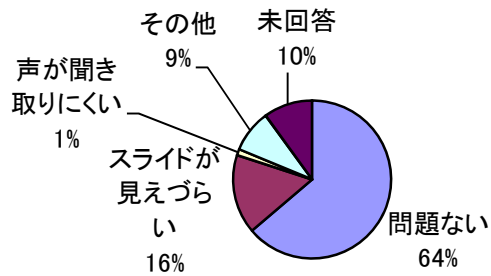
2F大会議室

適当	47名
もう少し広い方がよい	28名
もう少し狭くてもよい	0名
未回答	5名



(会場設備について)

問題ない	51名
スライドが見えづらい	13名
声が聞き取りにくい	1名
その他	7名
未回答	8名



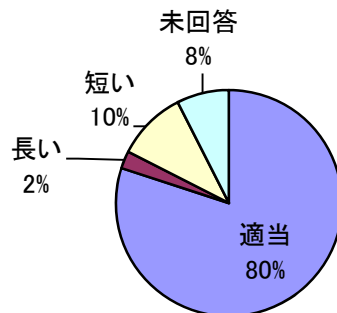
<理由>

- ・ 少し暑かった
- ・ 暑い
- ・ プロジェクターの文字が二重になったりして見づらかった
- ・ あつい
- ・ 暑い
- ・ 空調が良くない(寒い)
- ・ スライドが重なっており、見えづらくなっていた (途中から)
- ・ あつい 空調
- ・ 後から見えにくい

Q3-3 各プロジェクトチームの発表について

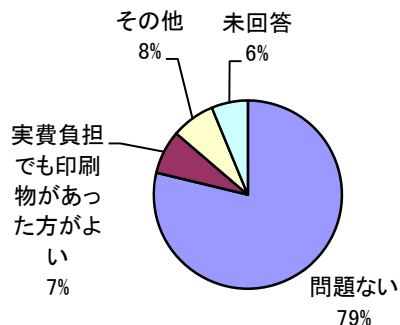
発表時間について(20分)

適当	64名
長い	2名
短い	8名
未回答	6名



Q3-4 テキストの配布形式について(HPの配布)

問題ない	63名
実費負担でも印刷物があった方がよい	6名
その他	6名
未回答	5名



(その他の意見)

- ・ 概要版配布してほしい
- ・ HPには平日の3日前までには掲示してほしい
- ・ 概要集がほしい
- ・ 資料が多い 概要だけでも配布して欲しい
- ・ 完全版がHPになかった様に思えるが…。
- ・ ホームページに配布

Q3-4 本セミナーにおいて良かった点、改善すべき点など、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい

◆本セミナーにおいて良かった点

- ・ 最新の技術傾向が聞けた
- ・ 無料であり、幅広く誰でも参加できる点
- ・ 全テーマをすべて網羅して半日で行ったこと
- ・ 橋梁関係については、研究が活かされていくと思われる
- ・ 国道で実施研究されている点で理解しやすかった(国交省OBのため)
- ・ 全般的に高度な研究成果の発表で、大いに有意義でありました。
- ・ 世界基準をふまえたパトシステム。ぜひ完成させて下さい。
- ・ 新たな視点の研究があり勉強になった
- ・ 時間通りの議事進行
- ・ 専門家の話が聞けて満足できた
- ・ 都市環境改善舗装の既存路面の調査・分析結果が良かった。
- ・ 時間通りの進行でよかったと思います。
- ・ 司会の さんのアナウンスがよかった。
- ・ 自分が知らなかった最新技術に基づく研究を聞くことができる。
- ・ 時間の進行正確で良かった
- ・ 勉強になった。自分が参加しているプログラム以外のものが知れて良かった
- ・ 先端の技術の情報が得られた
- ・ ポイントをわかりやすく説明された。
- ・ 幅広い知識を得ることができたこと。
- ・ 発表時間がちょうどよかった。
- ・ 官のニーズがよくわかった

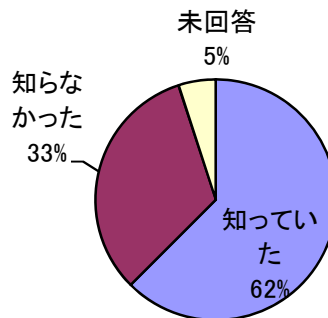
◆本セミナーにおいて改善すべき点

- ・ 純学術的な課題(定式化)は解りにくい
- ・ 報告時間が短いため、内容を省いている所もあり、よくわからないものがみられた。
- ・ pptもいいが、きちんとしたテキスト形式で報告文章・論文にしてほしい
- ・ 舗装関係は、今後どう活かされるのかわかりづらいものがあった
- ・ 20分休憩1回より10分休憩2回挟んでもらう方がよい
- ・ パワーポイント画面が乱れていた
- ・ このようなセミナーがあることを知らなかったので広く広報してほしい
- ・ テーマが多すぎる。5テーマぐらいとし、1テーマあたりの説明時間を30分から40分程度は欲しいところ
- ・ 時間制限を行った方がよい。
- ・ 質疑の時間が有ればよい。
- ・ 講演PPTの資料が配付されるとありがたい
- ・ 発表資料はまとめるべき。
- ・ 休憩時間が短い

- ・ スライドが見えない

Q4. 当研究会が発足して約10年が経過しましたが、このような取組みについてはご存知でしたか？

知っていた	50名
知らなかった	26名
未回答	4名



Q5. 今後、産学官連携で取り組むことが望ましいと思われるテーマはなんですか？(複数回答可)

舗装に関するテーマ	20	<ul style="list-style-type: none"> ・空洞対策 ・排水・透水性舗装のさらなる研究 ・切削オーバーレイか打ち換えを簡単に判断できる機械 ・生活道路における舗装維持管理手法 ・保水性土系舗装舗装等 地球温暖化等に伴う放射熱の低減方策。 ・補修工法、設計法 ・高齢化に対応したやさしい舗装 ・舗装の長寿命化計画
橋梁に関するテーマ	27	<ul style="list-style-type: none"> ・橋を財産と考えた時の鋼橋塗装のあり方。経済性から全て無塗装でいいのか。 ・伸縮装置、ジョイントの騒音・振動対策について。 ・橋長15m未満の小規模橋梁における維持管理手法
維持管理に関するテーマ	46	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート構造物の維持管理手法 ・防草対策・除雪の高度化 ・道路付属物（照明、標識、カーブミラー）の維持管理手法 ・高齢化、車離れに伴う歩道等の有り方とその維持管理 ・コンクリート構造物に関するメンテナンス技術について
新技術・新工法に関するテーマ	28	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者の注目する新技術と評価について ・いろいろな社がもっている技術をおいしい所にだけ組み合わせず
環境やりサイクルに関するテーマ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・発生土の有効活用 ・建設資源リサイクル
まちづくりに関するテーマ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・景観を重視しすぎるせいで、維持管理を考えていない ・住宅区域への一般車両制限等、道路の有り方について
アセットマネジメント	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニングコストの縮減。点検しやすい構造物。
防災に関するテーマ	31	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲリラ豪雨対策 ・国としてどこまで備えておくのか ・トンネル、道路斜面の防災に関する研究
その他	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで完了している研究の再チェック改善 ・公共施設の劣化改善、施設更新、適正な点検方法 ・景観 ・南海地震による液状化被害関連

Q6. その他、研究会へのご意見等がございましたら、お書き下さい。

- ・ これからも永く続くことを期待しています。
- ・ 早急に具体の取り組みが求められている。橋梁の延命化について、具体的な取り組みと、内容、課題等に関する実施面への提案の話が聞きたかった！
- ・ HP内のテキストダウンロードの場所がわかりにくい
- ・ 特にありません。
- ・ 研究しておわりではなく、その先へつながるように。
- ・ CPDS講習に認定をお願いします
- ・ 会場の都合もあるかも知れませんが、スライドが少しでも見やすいように工夫して頂きたい。
- ・ 東京オリンピックの会場では車のアクセスより歩行者のアクセスを考えた道路造りが課題であると云われているが、花火大会等の一般的なものもふくめ、歩行者、自転車、車いす等の混合交通のあり方について 又システムを検討する必要があるのではないのでしょうか。
- ・ スライド画面で一部文字が2重になっている所があり、見づらかった。
- ・ もっといろんな人が本会を知れる様に発信手法を考えて発信してほしい。
- ・ プロジェクターがにじんで見難い。